

# MITOYA 2014 夏物語(1)

総合学科棟3F大講義室

チームワークで頑張ってます!!



## 道を拓く

### チーム三高の夏期集中学習会

### 受験は団体戦

## ～互いの姿を刺激に共に頑張る蛭雪時代(甲午夏)～

7月24日(木)の終業式以降も、3年生は8月1日(金)まで進路に応じた夏期補習を受講し、さらにその翌週は夏期集中学習会にのぞんだ。総合学科棟3階の大講義室で、午前は2コマ、午後は3コマの原則90分枠の自学自習(無言学習)を行い、一部教科の特別講義も行われ、受験勉強に没頭する時間を積み重ねた。ある生徒は、「スマホを気にすることなく、当たり前前に勉強に集中できて良かった。家でもこの雰囲気を感じながら頑張りたい。」と感想を口にしてくれた。

わずかあと半年で新しいスタートラインに立てる  
人生80年以上

いっ準備するの  
今でしょ!

夢を語ろう  
三高で!  
君の夢を叶える  
島根全県区の  
三刀屋高校です

つながろう三高  
つながろう雲南

#### 如己愛人

和魂漢才・和魂洋才  
三高のすぐ近くに  
三刀屋天満宮が鎮座  
する。学問の神様菅  
原道真公(以下、菅  
公)を祀る天神さんがこれほ  
ど至近にある学校も珍しい。  
▼菅公と言え、平安時代の  
西暦894年に遣唐使の廃止  
を建議したことが一般に良く  
知られるが、天神さんがどん  
なお宮なのか、どんな神様を  
祀るのかを知る高校生は、実  
は意外と少ない。詰襟学生服  
やスクールウェアの某ブラン  
ド名も菅公の名にあやかって  
いると言え、一層意味不明  
のことか。ともかく、一生懸  
命学んだ上で三高生もお蔭を  
受けてもらいたい。▼ところ  
で、全国の天神さんには菅公  
の言葉と伝えられた「和魂漢  
才」の額や碑が多い。日本固  
有の精神は失わずに中国の学  
問を吸収消化・活用するべき  
であるという意味のようだ。  
▼幕末明治維新からは「和魂  
洋才」の語も加わったが、そ  
こには外国文化を排除しよう  
とする姿はなく、むしろ見習  
うべき外国文化は評価しよう  
とする姿勢とも考えられる。

▼グローバル時代を迎えて一  
層先が見通しにくい状況が続  
いているが、何かにつけ互い  
の国が尊重しあい、また違い  
を認め合うことによる裾野の  
広い交流を積み重ねたい。そ  
こには、互いに夢を語り合う  
世界が膨らんで来るはずだ。

(編集長記)



MITOYA

島根三刀屋  
県立高校

# 蒼雲

学校だより  
第87号

【発行所】  
三刀屋高等学校  
〒690-2404  
雲南市三刀屋町  
三刀屋912-2  
TEL: 0854-45-2721  
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】  
有限会社木次印刷  
〒699-1312  
雲南市木次町山方  
630-5  
TEL: 0854-42-8133  
FAX: 0854-42-8155

# 10/4

## 忘れかけていた 昔の自分に会える



## 夢ふくらむ 明日の自分に会えた 8/5(火)

(土) 記念講演の講師は映画監督の錦織良成氏です

### 創立90周年記念式典

#### 三刀屋高校オープンキャンパス

中学3年生(192名)と保護者の皆様、引率の各中学校の先生方、ご参加ありがとうございました。



### 報告

#### ソフトボール

全国の壁厚く  
初戦突破ならず

#### 女子 優勝校との対戦

<2回戦、8月3日> 保土ヶ谷公園軟式野球場

TEAM	1	2	3	4	5	計
三刀屋(鳥根)	0	0	0	0	0	0
神村学園(鹿児島)	3	0	4	0	×	7

5回コールド



少ないチャンスを生かせず敗退

しばらく遠ざかっている全  
国一勝を狙っていたが、対戦  
相手は今大会の優勝校。健闘  
むなしく初戦突破はならなかつ  
た。

#### 男子 微妙な判定に涙

<2回戦、8月9日> 新横浜公園投てき練習場

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋(鳥根)	0	0	0	0	0	0	0	0
日向(宮崎)	0	0	0	0	0	0	1	1

三刀屋は散発4安打に抑えられたものの、投手の藤原信行(3年)が相手打線を3安打に封じる好投とノーエラーの堅い守りで両校譲らぬ緊迫した試合展開。7回裏の日向は一死満塁からセンターフライを打ち上げて二死。タッチアップの相手三塁ランナーがセンター渡部賢(3年)からの好返球でタッチアウトかと思われたが、判定はセーフ。タイブレークに持つこめずに敗退となった。



終盤まで相手打線を封じた  
好投の藤原信行(3年)

選手・監督・応援の皆様等 お疲れ様でした

#### 吹奏楽

#### 第55回全日本吹奏楽コンクール鳥根県大会



男女ソフトボール部の全国高校総体出場をはじめ、8月前半を中心に各部は大会参加、遠征合宿等に精力的に動き回ったが、台風12号に続く11号の接近で吹奏楽コンクールの日程が変更されたり、遠征を中止した部もあったほか、8月9日に本校を会場に開催予定だった第3回目の「自分を作る楽校」も中止されるなど、台風と長雨に振り回された夏になった。

8月10日(日)に益田市のグラントワで開催予定だった標記コンクールの高等学校A・Bの部は、台風11号の接近によって12日(火)出雲市民会館での開催に変更となった。緊張感を失わずAの部(エントリー22校)の本番に臨み(部員37名)、昨年と同じ銀賞となった。

目標としてきた金賞・中国大会出場には届かなかったが、楽しく美しい三高サウンドをめざす吹奏楽部は地域の各種イベントに引張りだこで、これから大忙しの秋を迎える。

吹奏楽コンクールメモ  
高校は25人までの小編成の部と、Aの部、Bの部の三つに分かれている。このうち、中国大会を経て全国大会につながるの

はAの部のみ。最大55名まで出場できるAの部に参加した三刀屋高校だが部員は現在37名。音量ではどうしても部員数の多い学校が有利だ。



大山に向かって新チームの健闘を誓う



## 夏に鍛える

#### バスケットボール

男女ともに7月末の「サマーカップ in 三次2014」に参加した後、女子は8月4日から3日間、鳥取県西伯郡大山町の大山総合体育館を主会場に行われた「夏季大山合同強化合宿」に参加した。大山の

#### バレーボール

台風11号がやつと通りすぎた直後の8月11日、12日の2日間、女子バレーボール部は

ロッジサノを宿泊所に、合宿には鳥取大学医学部を含む7校が参加し、総当たりの練習試合では5勝1敗と大きく勝ち越す結果に、部員は秋のシーズンへの手応えを感じていた。一方、男子は8月上旬に隠岐で合宿を行った。台風11号の接近で帰路が心配されたが、「いつもくじ運が良いけれど、今回も運が味方してくれた。翌日はフェリーが欠航してましたヨ。」と目次監督はドヤ顔で報告していた。

県外5校を含む20校による第31回松江カップ大会(松江市総合体育館)に出場し、多くの対戦をこなして実力アップを図った。

# こちらは宮城県南三陸町



南三陸町災害ボランティアセンターで



## 東日本大震災島根県ボランティア隊に参加

島根県社会福祉協議会が募集する「東日本大震災島根県災害ボランティア隊」に本校からはじめて、1年生の飯塚 榎樹さんが参加した。

この活動は東日本大震災発生2か月後の平成23年5月に始まり、昨年度までの3年間に33クールが派遣された。25年度の場合、二十数名ずつ8クールが派遣されている。

飯塚さんは今年度夏の第2クール33名の一員として4泊5日の行程で、宮城県北東部の南三陸町で3日間のボランティア活動にあたった。

最初の2日間は町内の波伝谷(はでんや)地区で、津波に襲われた水田の中の石をひたすら拾う作業、3日目は地区の夏祭りの駐車場係りとして

日程	行程
8/3	14:30いきいきプラザ島根出発 車中泊
8/4	8:00南三陸町災害ボランティアセンター着、事前レクチャー ボランティア活動
8/5	事前レクチャー ボランティア活動
8/6	事前レクチャー ボランティア活動 18:00宿舍出発～車中泊
8/7	11:00いきいきプラザ島根着

活の中で心と体を休める間もなく、まだまだ気の遠くなるような再建のための課題があることが分かりました。被災者の皆さん自身もやらない

はならない事が山積みだからこそボランティアが必要なんです、あくまでも被災者の皆さんの気持ちに沿った活動が大切だと感じました。これまでは、そんなことまで考えたこともありませんでした。一と感想を寄せてくれた。

汗を流した。石拾いの単調な作業ではある参加者が一地区の人も一緒にやってくればもっと早く終わるのに。と口にしたそうだが、飯塚さんは「制限の多い日常生活の中で心と体を休める間もなく、まだまだ気の遠くなるような再建のための課題があることが分かりました。被災者の皆さん自身もやらない

リッチモンドは米国の何処かある町の名でヴァージニア州とも有名だが、このインディアナ州のリッチモンドは多くの歴史的建造物が残り、「アメリカの典型的な都市賞」に二度選ばれた。旧大東町からの付き合いが縁で、今回雲南市と姉妹都市提携への文書調印も実現した(現地11日)。

## 雲南市青少年海外派遣等交流事業



雲南市青少年海外派遣等交流事業実行委員会が主催する今年度のリッチモンド・サマースクールには本校からも3年生2名が参加。8月10日から12日間、米国インディアナ州リッチモンド市でホームステイを含めた交流・研修活動を続けています。

### 三高生も2名 8月21日まで12日間

日程	当初の予定
1日目	6:00雲南市役所出発～米子空港～羽田着、成田空港発
2	市役所訪問、警察署見学、アーラム大学で昼食、大学内のツアー・博物館見学等
3	ウェイン郡博物館見学、消防署見学、ホストファミリー宅でスィング
4	リーバイ・コフィンさんの家の見学 日本文化の紹介
5	カヌー体験、ホストファミリーの家での誕生パーティー
6	終日ホストファミリーと過ごす
7	終日ホストファミリーと過ごす 高校生とピクニック
8	州都インディアナポリスへ インデペンデンス会場見学、ショッピング
9	プール体験 ホストファミリー宅でショッピング
10	ホストファミリーの子どもたちと学校訪問、ショッピング
11	デイトン空港経由シカゴ空港発(約12時間)
12	成田空港着、羽田空港発米子空港着、雲南市着(23:40)

## 只今、リッチモンド市で交流・研修中

(次号で研修報告を予定)

## 県外編

# MITOYA 2014 夏物語

## 社会観・人生観がかわるほどの体験!

(2)



お疲れサマーでした

▼南三陸町の現状  
大津波の被害が甚大で町の62%(市街地で75%)もの家屋が損壊しました。  
3年が過ぎた現在では市街地の基礎は撤去され、高台移転の造成が始まりつつありますが、まだ人の手を必要としているものがあります。わかめをはじめとする養殖漁業の支援、農地復旧をはじめとする農業支援などは機械ではできない作業が求められてきます。  
(南三陸町災害ボランティアセンターHPより)



ウェイン郡庁舎



卓球部は吉田中学校の生徒と7月19日、三刀屋文化体育館アスバルで合同練習会を行っ

卓球

吉田中と合同練習会

7/19

他競技に比べて卓球部は県高体連に加盟する高校の数は比較的多いが、少子化によって中学校での廃部は予想以上に進んでいる。雲南市内で卓球部があるのは吉田中学校(全校生徒32名、部員5名)のみで、本校入学後は卓球部の主力ともなる(もちろん、高校入学後に競技を始める人も多いですよ)。この日は、アスバルの小ホールいっぱい卓球台を並べ、次々と相手を変えて実戦形式で汗を流した。

部活動によっては普段から中学校との交流が見られるが、夏休みはその動きも活発となる。中体連の県大会を控えた1学期末には、近隣中学校の女子ソフトボール部が本校に集まって交流試合をもったほか、各種競技で中高合同の練習会が開かれ、オープンキャンパスでは、部によっては見学だけでなく中学生と一緒に活動して交流する場面も見られた。

交流編

見学者が多数訪れたバレーボール部の練習風景。



オープンキャンパス(8/5)では部活動見学も

8月5日(火)に開催した本校のオープンキャンパスには、雲南市内外から192名もの中学三年生の参加があった。最後の部活動見学はわずか30分程と時間に制約があったが、特に文化部では見学だけでなく三高生と中学生が一緒になって活動する場面も多く見られ、互いに来年への期待を膨らませていた。三高で待ってますヨ！

MITOYA 2014 夏物語 (3)

演劇

1年生は初舞台/3年生は引退へ

7/26~27

脚本から運営まで生徒手作りの自主公演



演劇部は7月末に木次町のチェリバホールで創作劇「スピリット」を上演。演出はチェリバホールの西藤将人さんのお世話になったが、脚本(3年高田千智さん)、舞台監督(3年松島初音さん)、チラシ作成(美術部協力)から会場との交渉等、すべてを生徒が行う地元での自主公演。1年生にとっては待望の初舞台となったが、3年生にとっては感謝の気持ちを込めた引退のステージでもあった。お疲れ様でした。

三高卒業生(内田さん)からもアドバイス



内田千晶さん(島根大学教育学部1年)

オープンキャンパスでは総合学科に関する全体説明のほか、教室に分かれて在校生による総合学科としての教科「産業社会と人間」の紹介、

教員による模擬授業等もあったが、卒業生の立場で三刀屋高校総合学科を紹介してもらう時間も設けられた。吹奏楽部に所属していた今春卒業の内田千晶さんは、「勉強でも部活動でも何事も一生懸命になることで選択肢が広がります。」と200名近い中学生を前に語りかけ、未来の三高生にアドバイスとエールを送ってもらった。

JRC

気づき・考え・実行する力を養うために



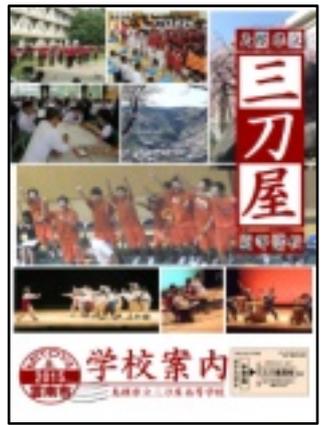
島根県青少年赤十字(小中高合同開催)リーダーシップ・トレーニングセンター

8/7~9

出雲市のサン・レイクで8月7日から2泊3日の日程で開催された標記研修会には島根県内から小学生22名、中学生24名、高校生24名の計74名が参加し、本校からはJRC部の板持乃野可(1年)さんが代表して出席した。初日のプログラム「東日本大震災に学ぶ」では、「避難所を立ち上げる」をテーマにワークショップを行い、2日目には「救急法」などの技術研修やフィールドワーク、最終日には各校種に分かれてワークショップを実施し、高校生は5W1Hを用いてこれからの青少年赤十字活動のテーマを考えるなど、今後の活動を考える上でも貴重な体験となる充実のトレセンとなった。

※学校案内を発行しました。各中学校へお届けします。

旧←新



# ボランティア編 三高生もナビゲート

## たたら&ヤマタノオロチ伝説ツアー 7/31



八雲立つ 出雲八重垣 妻籠つまこみを  
八重垣作る その八重垣を  
in「古事記」

大蛇を退治した直後のスサノオの歌が日本初の和歌と伝えられる



紙芝居で八岐大蛇の神話と須賀神社を紹介するのは本校の奥井大勢さん(2年)。

大東町の須賀神社

雲南市では、夏休みに子どもたちが市民バスを何度でも利用できる「ふるさと雲南キョロキョロ探検バスポート(通称キョロパス)」を使って市内を巡り、新しい発見をしてもらう取り組みをしている。

関連して『たたら&ヤマタノオロチ伝説ツアー』も毎年開催されておりましたが、今年7月31日(木)に小学生11人、ナビゲーター役の高校生3人(三刀屋高

# MITOYA 2014 夏物語 (4)

社会福祉法人 雲南広域福祉会  
にぎやか「ふれあいまつり」  
イベント盛り上げに三高生もボランティア参加 7/27



社会福祉法人雲南広域福祉会が主催する「ふれあいまつり」が今年も三刀屋町古城のシャボン玉工房、パレット駐車場を会場に開催された。子どもからお年寄りまで幅広い世代の交流と障がいへの理解と偏見のない地域生活をめざして毎年開催され、本校からも7名が模擬店のお手伝いをしてイベントを盛り上げてくれた。

## 茶道

8/6

茶道部は夏休みを利用して、松江市西持田町の地域有料サービス付き高齢者向け住宅「フェリーチェ持田」を訪問し、施設に入居するお年寄りと職員にお菓子と抹茶をサービスした。

# 老人ホーム慰問活動



呈茶サービスで会話も弾む

この日は男子も参加予定だったが、大雨でJR木次線の列車が止まった影響で、顧問の先生と部員は高尾瑞希さん(3年)一人の参加となった。校外での呈茶は初めてだったため、「どういう風にするの

か分からず、初めは緊張もして忙しく大変でしたが、そのうち『ありがとう』と言われたのがとても嬉しく、二眼目を希望される方も多くて感激



オープンキャンパスでは、記念館の「三楽庵」に多くの見学者が訪れた。

しました。また色んな所でやりたいです。」と感想を語ってくれた。最初は寂しい訪問になるかと思われたが、皆さんに喜んでいただき感謝の訪問になったようだ。

校1名、掛合分校2名など計25人が市内のヤマタノオロチ伝承地を巡った。このうち大東町の『須我神社』では、三高生のナビゲーターが紙芝居の読み語りで大蛇伝説と和歌発祥の地と伝えられる所縁について紹介し、午後は現在工事中の吉田町『菅谷高殿』でも、施設周辺の案内を行った。

[http://www.co-unnan.jp/sachi\\_rekisi.php](http://www.co-unnan.jp/sachi_rekisi.php)

## JR出雲市駅前街頭募金活動



7/21



JRC

JRCの出雲ブロックに所属する高校が連携し、一畑電鉄出雲大社前駅とJR出雲市駅前の2カ所で、東日本大震災義援金を募る合同募金活動を行った。6人が参加した本校は、大東高・出雲商業高・大社高佐田分校・平田高の仲間とともに出雲市駅前に立ち、二箇所合わせた計64,889円の善意は後日、日赤島根県支部を通じて被災地へ送られた。



※ 島根県東部の全市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心 !!

# 10周年を迎えます/ 総合学科 & 雲南市制 90周年を迎えます/ 学校創立

シリーズ

## 三高新時代への胎動

## 地域とともに

第4回

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

### 三高にはこんな人もいるのをご存知ですか？

受験上の校区枠のない総合学科の三刀屋高校には県内全域から自由に志願できる。今年度は24もの中学校出身者が在籍している。その分、新たな仲間との大きな出会いも期待される。

第52回全国スポーツ少年団大会に行ってきました

島根県スポーツ少年団 副会長は三高生

## 頼れる奥井兄貴はチビッコに大人気

大活躍の11班



島根県スポーツ少年団の会長は松江高専の3年生。そして副会長を務めるのが本校2年生の奥井大勢さんだ。奥井さんは3歳から柔道をはじめ、本校でも柔道部に所属して今年の県高校総体では団体と個人81kg級でベストエイトに入った。理系進学志望で自然科学部にも所属し、前号で紹介した7月の「益田サイエンスタウン」にも参加し、あのゴンドラの上にもいたのが彼だ。兄の影響もあってスポーツ活動に熱心に取り組む、昨年の夏には静岡県の国立中央青少年交流の家での中央研修を経てシニア

リーダーの全国資格を得た。そして今夏は8月2日から4日間、全国から300名以上の団員が参加した第52回全国スポーツ少年団大会に、島根県内の小中学生団員を成人指導者とともに引率して参加。写真の第11班ではシニアリーダーとして小中学生団員をリードし、「SHIP S」と呼ぶ班別競技活動では頼れる奥井兄貴のリードで全20班中2位の好成績をあげた。【奥井さんの話】「小学校を卒業するとスポ少を辞める人が多いのですが、もったいないですね。特定競技の練習だけでなく、地域のイベントに参加したり、いろんな人との出会いや交流があつて楽しいですよ。」

## 『たたら侍(仮称)』を勝手に応援するシリーズ 斐伊川今昔物語 第3回 「砂の堆積から浸食へ(前編)」

一代と呼ぶ三日三晩約70時間間に及ぶたたら製鉄の一回の操業(常設屋内炉の高殿での操業)には、砂鉄15tほどが必要とされた。土砂中に含まれる砂鉄分を1%とすると、鉄穴流しではその百倍、直径5mのタンクに高さ7m以上の土砂を一回の操業で流した

計算となる。

一説によれば、江戸時代初期から大正期にかけてのたたら製鉄で、斐伊川流域では2.2億m(東京ドーム約1777杯分)の土砂が流出したと言われる。また、斐伊川と同じく「火(鉄)」の川と呼ばれた鳥取県日野川の流域の鉄穴流し



伊萱床止

斐伊川河口から23km

国土交通省出雲河川事務所提供写真より作成

市の総面積に土砂が190cm堆積した計算となるようだ。輸入鉄鉱石に押されて大正末期にたたら製鉄および鉄穴流しの灯が途絶えると、当然のことながら流砂は激減し、現在に至るまで浸食作用による河床低下が続いている。特に中流域の河床低下が顕著で、例えば出雲市との境に近い斐伊川の写真の「伊萱床止め」の直下では、昭和45年から平成10年までの間に約4mも河床が低下して、流路の固定化によって淵もできています。

### 鉄穴流しによる堆積と現在の河床低下の凄まじさ



天井川の今昔



昔 (たたら製鉄が途絶えた大正時代末期)

二つの写真にうつる安来市広瀬町中心部の富田橋は同じ高さ。大正時代は、人が渡る板橋から川面に手が届くほどに山際まで砂が堆積していたが、本校の歴史と同じ90年を経て、橋の下の砂はごっそりとなくなった。今では橋の下の河川敷を大型車両が楽々と通過する。

橋の位置と高さはほぼ同じ

安来市広瀬町中心部を流れる飯梨川の土手は今も見上げるほど高いが、現在は橋から川面までの落差が大きい。

←写真は安来市教育委員会所有

日	曜	学校行事等	生徒会・対外活動の部活等
1	月	8月30日の代休日	
2	火	8月31日の代休日	※8月末の学園祭については8面参照。
3	水	学園祭片付け(1限)	
4	木	3年後期補習開始	
5	金	就職試験出願開始	
6	土	3年全統記述、学研基礎学力テスト、看護医療模試	
7	日		
8	月		後期生徒会役員選挙告示
9	火	センター試験説明会 交通安全講話 SC来校日	
10	水	島大説明会(1年産社)	高文連音楽コンクール
11	木	人権・同和教育SHR	
12	金		↑ 野球秋季地区予選
13	土	3年代ゼミ総合模試 看護医療模試	↑ 卓球県選手権
14	日	3年桐原小論模試	↑ ソフトボール
15	月	敬老の日	
16	火	就職試験解禁 1・2年身だしなみ指導 交通安全街頭指導(～22)	後期生徒会立会演説会・選挙 筆曲 演劇
17	水	1年地域産業研究実習(インターンシップ)事前指導	
18	木		
19	金		↑ 陸上
20	土		↑ ソフトテニス
21	日	PTA環境美化ボランティア活動(予備日28日)	↑ 野球
22	月	試験発表	
23	火	秋分の日 学校開放	
24	水		
25	木		
26	金	2年生保護者進路ガイダンス 閉寮	
27	土	学校開放	↑ 野球
28	日	PTA環境美化ボランティア活動(予備日) 閉寮	
29	月	中間試験1日目	
30	火	中間試験2日目	

日	曜	学校行事等	部活等
1	水	10/4の振替休業日 学校開放	センター試験出願開始
2	木	中間試験3日目	
3	金	中間試験4日目 記念式典準備	
4	土	創立90周年記念式典	
5	日		
6	月		

### 3 緊急連絡などのメール配信『三高メール』の登録について

年度当初にお願いしました緊急連絡用メールのアドレス登録について再度お願いいたします。ご希望の方には、登録方法に関するプリントを再配布しますので、お子様を通じて担任にご請求をお願いいたします。

<主な留意事項>

- ①登録された個人情報、配信以外に使用することはありません。
- ②受信には通常のメール受信料がかかります。
- ③登録はご家族の方に限らせて頂きます。(送迎される祖父母の方もどうぞ)

## 募集中

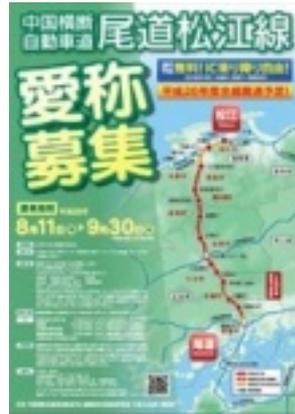
## 尾道松江線に愛称を

中国横断自動車道

効果に期待が寄せられています。

前頁のシリーズ「斐伊川今昔物語」の次回は、松江自動車道沿いの道の駅「たたらば壺番地」周辺を例に鉄穴残丘を紹介いたします。その雲南市吉田町では、一昨年から菅谷高殿の修繕工事が続いていたりましたが、まもなく工事を終えて一層の集客が期待されています。さらには今年度中に尾道までの中国横断自動車道全線の開通が予定されており、さまざまな

三高勢が名付け親になろう！



- 参考例
- ▽若狭さとうみハイウェイ
  - ▽どんぐり街道
  - ▽畿央まほろばハイウェイ
  - ▽ぐるっ都・仙台
  - ▽MAGロード
  - ▽瀬戸内しまなみ海道

自動車で夢を語ろう

募集期間 9月30日(火)まで  
詳細はHP等でご確認ください。

保護者の皆様へ

## お知らせとお願い

7月末から夏休みにかけては保護者面談・各地区夏祭り等でのパトロールでお世話になりました。引き続き、本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1 学園祭にお越しく下さい

学園祭PTA模擬店も楽しみです



過去の例

### 2 環境美化ボランティア活動へのご協力をお願いします

地区PTAの席上で提案のありました環境美化ボランティア活動へのご協力をお願いします。創立90周年記念式典を前に、9月21日(日)に計画しております。参加者の取りまとめは各支部単位でお願いしております。ご多忙のところを恐縮ですが、よろしくお願い申し上げます。

# さんこう 三高90年物語

## 第4回 校庭拡張と正門と すきやばし 好貴嫌橋



昭和27年に三刀屋町から寄贈、拡張された校庭



円内が旧正門と好貴嫌橋の位置



現在の好貴嫌橋

現在の正門前はかなりの急勾配の坂になっている。ここは昔、裏門につながる十数段の階段があった場所で、昭和40年代の校舎改築の際にスロープ状にし、今のように車も通れるようにしたものだ。

一方、昔の正門跡は女子ソフトボール部の練習グラウンドの横に現在も保存されている。もともと敷地の端に位置し、木次駅方面から登校する生徒にとって正門が遠かったため、実は当時の生徒や教職員の多くは裏門から校舎に入っていた。▼大正13年創立から戦前を通じて校地面積は3891坪のままだったが、三刀屋町から田畑1505坪を校庭に整地して本校に寄贈していただき、正門も校庭中央に位置するようになった。グラウンドは倍以上に広がり、背後の崖山には階段が設けられ、全校朝礼や壮行式、応援歌練習にも使用された。風雨による崩

壊のため次第に利用されなくなり、昭和45年に背後の山手に町営野球場(実質的に本校の専用球場)が建設される際、進入路を作るために崖は削られ役目を終えたようだ。▼なお、旧正門前にも現在も立体交差の橋が架かり、直接市街地につながっている。この橋については、本校の五十年史は次のように簡単に紹介している。

好貴嫌橋(すきやばし)と称する立体交差の橋がある。この名の起こりは有名な東京の「数寄屋橋」に由来するといわれる。名称の面白さも相まって当時の生徒に親しまれた。

天候不順で中止や変更となったイベントや活動があり、情報収集に苦労した今号でした。熱中症になるような酷暑は困りものですが、夏は普通に暑いのがいいですね。まもなく、取材も忙しい実りの秋を迎えます。週末ごとに各地域で多彩なイベントが繰り広げられ、三高生が活躍する場面も多くなることでしょう。情報提供を引き続きよろしくお願いします。

編集後記

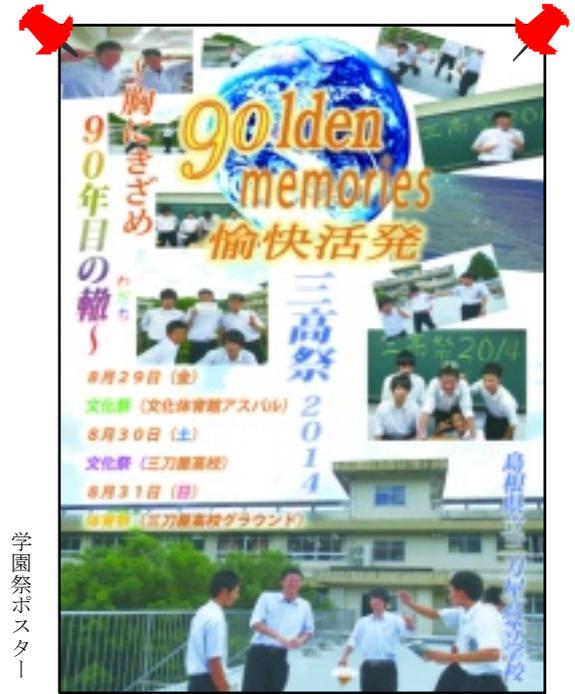
(編集長記)

<http://三高情報.怒涛のドット満載「蒼雲」>

### ご案内



- 8/29 (金) 文化祭1日目 文化体育館アスパル
- 8/30 (土) 文化祭2日目 三刀屋高校
- 8/31 (日) 体育祭 三刀屋高校グラウンド



学園祭ポスター

### 90周年記念 学園祭特別企画

- 1 記念館「蒼雲館」を公開します
- 2 旧制三刀屋中学校 校歌 作曲/片山穎太郎先生の原稿展示
- 3 90周年エピソード スライド
- 4 錦織良成監督作品「うんなん」上映
- 5 三高に勤務した美術教員による作品展示 書道:長羅講師の作品展
- 6 生徒会企画

### kotonoha がやって来る日

MOE Vocal YUKA DJ, Guitar, Chorus



学園祭初日  
8/29 (金)  
12:30~13:00  
文化体育館アスパル

高校の同級生MOE、YUKA からなるガールズユニット。「しまねっこのうた」、BSS 情報バラエティー番組「生たまごBang!」をはじめ数々のテーマソングを担当し、山陰両県のメディア、イベント、お祭りに欠かせない存在となっています。一度目にしたら忘れられない個性的なファッションと、同世代にスポットを当てたメッセージをメロディに乗せたkotonoha tunes で、多くの若者から支持を得ています。